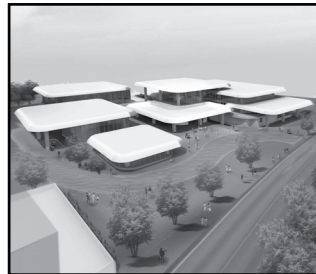




2017年の記憶 ~ 宮古島市重大ニュース ~

①下地敏彦市長3期目スタート(1月22日)

平成29年1月に投開票された宮古島市長選挙で現職の下地敏彦氏が再選を果たし、第4代市長として3期目がスタートした。



②未来創造センター建設工事着工(3月25日)

図書館と公民館の機能を併せ持つ複合施設である未来創造センターの建設工事が平成29年3月に着工された。市民の教育・文化に関する生涯学習施設、暮らしを支えるコミュニティ拠点施設としての利活用が期待され、供用開始は平成31年7月を予定している。

③JTAドーム(スポーツ観光交流拠点施設)供用開始(4月1日)

平成29年3月に完成した「JTAドーム宮古島」が4月より供用開始され、4月のトライアスロン開会式を皮切りに、フットサルやゲートボールなどのスポーツイベント、紙ヒコーキアジア大会、市内保育園の運動会、クイチャーフェスティバル、産業まつりなどさまざまなイベントが開催された。

④小中学校の給食費を半額助成(4月1日)

子育て支援、子どもの貧困対策の観点から、平成29年4月より市内の全ての小中学生を対象に給食費の半額助成を実施。小学生の給食費は、これまでの月額3,500円から月額1,750円に、中学生は月額4,000円から月額2,000円となった。

⑤県中央児童相談所宮古分室の設置(4月1日)

平成29年4月、宮古地区における児童虐待に関する重大な事案に迅速かつ適切に対応するため、沖縄県中央児童相談所宮古分室が設置された。

⑥比嘉大吾選手がWBC世界フライ級チャンピオンに(5月20日)

宮古工業高校出身でプロボクサーの比嘉大吾選手がWBC世界フライ級チャンピオンとなり、平成29年10月に行われたタイトルマッチにもKO勝利し、見事初防衛に成功した。



⑦2016年度農業生産額が過去最高の190億円を突破(8月12日)

宮古地区における2016年度の農業生産額が1989年の164億円を大幅に上回り、過去最高額の190億円に達した。基幹作物であるサトウキビの生産額100億円突破や肉用牛取引額も過去最高の45億円に達したことに加え、葉たばこや野菜・果樹等についても順調に推移している。過去最高の豊作を祝い、農家の努力の成果と、消費者である市民の皆様に感謝の意を込め、さらなる農業発展のため、8月にJTAドームで農業感謝祭が開催された。



⑧第10回全国離島甲子園で「宮古島アララガマボーイズ」が2連覇(8月24日)

国土交通大臣杯第10回全国離島交流中学生野球大会(通称:離島甲子園)が8月に石垣市で開催され、宮古島の中学校選抜チーム「アララガマボーイズ」が、大会史上初の2連覇を達成した。

⑨平良港国際クルーズ拠点整備事業着工(9月30日) 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル事業一部供用開始(12月16日)

平良港は平成29年7月26日に国際旅客船拠点形成港湾に指定され、14万t級のクルーズ船が接岸できる岸壁370mの整備が国直轄事業で9月に着工された。供用開始は平成32年度を予定しており、クルーズ観光客の増加による経済効果で地域活性化が期待される。また、これまで進められてきた平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナルが昨年12月に一部供用開始された。



⑩宮古島市総合庁舎建設地が決定(9月27日)

市町村合併から10年以上が経過し、多様化する市民ニーズへの対応が急務とされるなか、総合庁舎建設地が平成29年9月定例会にて議決され、消防本部北側の国有地に決定した。また、市民の利便性向上の推進や災害拠点施設となる機能の整備、保健センターを併設することなどが盛り込まれた宮古島市総合庁舎整備事業基本構想・基本計画が策定された。



⑪パイナガマ海空すこやか公園が開園(10月1日)

平成26年から工事が進められていたパイナガマ海空すこやか公園が10月より供用開始された。本施設は多様化する市民ニーズを効果的、効率的に対応することを目的として、遊具をはじめとするバスケットコートやドッグランスペースを設けており、宮古島市の都市公園としては初めて、バーベキューができる公園として開園した。

⑫栃木県市貝町との交流都市締結(10月3日)

平成29年10月、渡り鳥として知られるサシバを縁に日本で有数の繁殖地である栃木県市貝町と、日本で最後に渡来する宮古島市との間で交流都市締結された。今後、人的・物的交流が盛んに行われることが期待される。



⑬下地島空港国際線旅客ターミナル建設工事着工(10月11日)

平成29年3月、下地島空港及び周辺用地の利活用推進に向け、沖縄県と三菱地所株式会社との間で「国際線等旅客施設整備・運営及びプライベート機受入事業」の基本合意が締結され、10月に工事が着工された。平成31年3月の国際線等ターミナル施設の開業に向け整備が進められ、これにより本市のさらなる振興が期待される。